

令和5年度 企業版ふるさと納税の活用事業について

企業版ふるさと納税を通じていただいたご寄附により、まちなかに賑わいを創出する事業に活用させていただきました。引き続き、本市へのご支援ご協力をよろしくお願い致します。

持続的な成長のための強靱化と雇用を創出する事業

【関連するSDGs】



観光振興事業費

サマーイルミネーションフェスティバル in にらさき(2023/2024)

文科省唱歌「たなばたさま」の作詞者、童謡詩人・権藤はなよの生誕地である本市を PR するとともに、荊崎駅前を彩る夏の風物詩として JR 荊崎駅前広場で短冊に願い事を書いたオブジェが設置され、イルミネーションが駅前全体を鮮やかに彩るイベントです。

本市の魅力を発信する観光イベントの一つであり、市内内外の多くの方が楽しめる場となりました。



起業支援補助事業

市民生活向上のための中・小規模企業(事務所)のへ支援策として、新規起業や経営改善を検討する事業者を支援し、活性化を図る事業です。

本市は、チャレンジする方を応援するまちでもあり、新規に起業する方も増えています。

本補助金により、オープンしたお店を訪れる市外の人が増えるなど、まちなかをはじめいたるところが活気づいています。

起業時の経済的支援は、起業から選ばれるまちとなり、まちづくりにも関連する補助金となっています。



中小企業等支援事業費

【小規模事業者支援】

開業から2年以上経過している市内の小規模事業者を対象に、販路開拓や生産性向上の取組を支援する事業です。

店舗の改修費や新商品、新事業にチャレンジするための開発費、広報費等を補助することで、市内事業者の自律的な成長や持続的な経済成長を期待するものです。



ふるさと納税事業

ふるさと納税を通じて、特産品などの PR や事業者の販路拡大、市の関係人口(ファン作り)の創出を図ります。

寄附者様への返礼品の送付により、感謝とともに、市の魅力発信も行います。

随時プロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングにも取り組んでいます。



20 歳代から 40 歳代に選ばれる子育て支援と教育を充実する事業

【関連するSDGs】



ファミリーサポート事業

育児の援助を受けたい人と育児したい人が会員となり、相互に支えあう仕組みです。

この事業で、産後のサポートとして家事支援、保育園・幼稚園・習い事の送迎支援や、美容院などリフレッシュの時の一時預かりをしたもらうなど多くの子育て中のファミリーが、助けられています。令和5年度は 922 件の利用があり、子育て施策に大きな効果が生まれています。



カムバック支援事業

青少年育成プラザミアキスで実施されている、カムバック支援事業の中には、様々な中高生サポートプログラムがあります。

その中で、学生がチャレンジ企画を発表する「スパーク応援コンテスト」で選考された者のチャレンジ資金とさせていただき、コンテスト当日には株式会社ダイナムの皆様が審査員としてご参加いただきました。13組中10組に活動資金が渡され、ほぼすべてのアイデアが実行されました。



地域のつながりと安心・安全な生活環境のあるコミュニティ創造する事業

【関連するSDGs】



文化財保存活用施設整備事業費

本市には、国史跡や、重要文化財、国登録文化財など、多種多様な文化財が数多くあります。

これらは、葦崎の地で先人たちが「夢」を生み、育み、実現してきた結果で、葦崎には夢を語り叶えてきた歴史とアイデンティティーが今もなおあふれています。

しかしながら、民俗資料館の老朽化や、情報発信が十分に行われていない史跡等もあります。

令和7年3月には「ニラノメミュージアム 基本計画～市民の夢を叶える文化財保存事業・施設～」が策定され、収集保存、研究調査や施設の管理運営などの具体的な取組みについての検討がまとめられました。



小林一三生誕 150 周年記念事業

地域資源を活用した誇れるまちづくりの中で、小林一三翁や保阪嘉内をはじめ、多くの偉人を輩出した歴史や文化・景観を活かしたまちづくりを進めています。

小林一三翁生誕150周年を祝い、展示・演奏会・講演会・映画上映会・茶会・宝塚 OG 公演・学習散歩会・小冊子配布等、各種行事が展開されました。

また、小学校高学年を対象とした出前授業を通じ、本市が生んだ「偉大な実業家」に市民の関心を高め、郷土愛を醸成する機会となりました。



災害対策事業費【地域減災リーダー育成事業】

大規模な災害から家庭や地域の被害を最小限にするためには、平素から市民の皆様が自主的に減災への取り組みを行う自主防災組織が必要です。

本講座を通じて自助・共助の強化を目的に、地域減災リーダーの育成を図ります。

平成 24 年度から自主防災活動の活性化を目的に 3 か年計画で実施してきましたが、平成 27 年度からは、平成 26 年度に組織化された「地域減災リーダー連絡協議会」の新規人材育成事業として、新たに「地域減災リーダー育成講座」を開講し、幅広い年代で多くの方々に関心を持っていただき、令和 7 年3月 1 日現在で 820 人以上の方を地域減災リーダーに認定してきました。



美術館管理運営費

葦崎市出身でノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智博士が長年に渡り蒐集(しゅうしゅう)してきた美術品を中心に展示をしている美術館です。

所蔵収蔵品は、関連資料を含め約4,000 点以上あり、その中から季節や時節によって様々な企画展を開催し、作品を紹介しています。

併設している「大村智記念館」(R7.7 オープン)では、大村博士にまつわるゆかりの品々や研究資料等が展示してあり、大村博士の軌跡の一端に触れることができます。

